

2019年度

事業計画

公益財団法人 鈴鹿市文化振興事業団

2019年度 公益財団法人 鈴鹿市文化振興事業団事業計画目次

1	基本方針	1
2	公益事業	1
3	施設管理事業	4
4	収益事業	4
5	法人事業	5
6	事業準備金	5

1 基本方針

文化芸術を楽しみ、育む心は、市民の個性と魅力を高め、心や暮らし、さらには、まち全体を元気にする活力を持っています。市民の文化活動によって日々創造される文化、そして歴史や伝統に育まれた文化が織りなす「すずか文化」を一層発展させるとともに、次代の担い手である子どもたちに優れた文化芸術に触れる機会を創り、文化が引き継がれていくことを目標にして事業を展開していきます。

事業を企画するにあたり、次の3点を柱としてすすめます。

1. 鈴鹿市総合計画 2023、第2次鈴鹿市文化振興ビジョンを指針として、鈴鹿市の文化振興を図ります。
2. 市民、参加者、利用者のニーズを把握して企画に反映させます。
3. 先進的な事業を調査・研究し、また専門家や有識者の協力を得て市民の皆様に魅力的な企画を開発して提案します。

事業を実施するにあたり、次の点に留意してすすめます。

1. 文化情報紙「けやき」を柱に多彩なメディアを活用して、事業を多くの方に知っていただき、より多くの方の参加を目指します。
2. 参加者の喜びや感動が大きくなるように事業選定を行い、円滑な運営に努めます。
3. 市民参加型の事業は広く開かれたものとし、関係者や市民の皆様にも運営等で参画していただき、一緒につくっていきます。また、鈴鹿市を中心に活躍する専門家やアーティストと協力していきます。
4. 文化振興事業への企業、団体等の協力や協賛を広げていきます。

2 公益事業

公益事業として、(1) 市民シアター事業 (2) 文化工房事業 (3) 鈴鹿市受託事業 (4) 広報事業の4事業を実施します。

(1) 市民シアター事業

優れた文化芸術に接する機会を設け、幅広い年代層を対象に多彩なジャンル構成で公演を行います。また、文化庁や一般財団法人地域創造等、各種助成団体が公募する助成事業の活用も行い、できるだけチケット価格を安価に設定していきます。

(ア) 音楽公演

クラシックや吹奏楽、軽音楽など、幅広く実施し、一流アーティストや地元出身アーティストの演奏に触れていただき、技術レベルの向上や音楽への関心を高めるにとどまらず、人々や街を元気にし、次の世代を育てるなど、音楽の持つ力により文化振興を図る事業として取り組みます。

- ・ 茂木大輔監修 高橋多佳子の生で聴く のだめカンタービレの音楽会【ピアノ版】
- ・ すずか JAZZ Vol. 5
- ・ スイーツ&カフェコンサート Vol. 9
- ・ ゴスペルクリスマスコンサート など

(イ) 演劇公演

演劇公演は費用や準備期間など、事業として大きな経営資源を要します。そのため市民の皆様が鑑賞する機会は音楽に比べて少ない現状があります。総合芸術である演劇を市民の皆様にご体験していただけるように、市民による実行委員会と協働して演劇の輪を広げていきます。

- ・ 人形劇団むすび座「かくれ山の大冒険」（こどもフェスティバルの一環として開催）

(ウ) 伝統芸能公演

狂言や落語など日本の伝統芸能の公演を積極的に開催していきます。

- ・ 「野村萬斎狂言の現在 2019」
- ・ 第 15 回けやき寄席

(エ) 次世代育成事業

次世代を担う子どもたちが芸術文化に触れる機会を設け、保護者とともに来場しやすい公演を開催します。

- ・ 「ときめきクラシック Kids コンサート 2019」
- ・ こどもフェスティバル 2019

(オ) その他公演

他の事業団や文化団体等が開催する事業について、緊密な連携や調整を行い、共催や後援等によって充実させていきます。

- ・ 「ゲッターズ飯田 開運トークライブ」
- ・ 白子高校創作ミュージカル「鈴鹿の偉人 大黒屋光太夫」（共催）

(2) 文化工房事業

セミナー事業を一新し、市民の皆様の文化や芸術にふれるきっかけづくりを目標に魅力的なセミナーやワークショップを提案します。

(ア) 「鈴カル」カレッジ

- ・文芸コース
- ・芸術コース
- ・文化教養コース など

(イ) アウトリーチ、ワークショップ

学校、公民館等を会場にアウトリーチ事業を実施し、学校や地域にいらながら、プロのアーティストによる優れた演奏を鑑賞していただきます。また、ゴスペルコンサートは鈴鹿のユニークな子どものワークショップとともに当事業団が育ててきたゴスペルコンサートを市民、子どもまた文化体験活動も設け、子ども同士が交流し、発表し合うなど、みんなでつくる場を設けます。こうした事業によって子どもたちが本物に出会い、自発性や感性を育てる機会とします。

- ・公民館 presents ミュージック・ガーデン
- ・音楽アウトリーチ
- ・演劇アウトリーチ
- ・ゴスペルワークショップ など

(3) 受託事業

鈴鹿市から委託を受け、次の4事業を実施します。これらの事業は市民の創作、創造活動の貴重な発表の場となっており、市民文化の振興に大きな役割を持っています。実施に際して準備から発表まで長期間を要し、多くの方が参画する事業のため、各分野の専門家や有識者の協力をいただきながら進めます。

(ア) 第52回鈴鹿市美術展

市民による美術作品発表の場として、6部門（日本画、洋画、彫刻、美術工芸、写真、書道）で作品を募集し、市外審査員を含む専門家による公開審査を行います。それぞれの部門で市長賞等各賞を決定します。また、市内企業等の協賛による企業賞も設け、広く支えられる美術展を目指します。入賞作品は美術展覧会で展示し、図録にも掲載して多くの市民の皆様にご覧いただけます。

(イ) 第 28 回鈴鹿市文芸賞

一般の部とジュニアの部で、小説、エッセイ、詩、短歌など各ジャンルで募集し、有識者による審査を行います。それぞれの部で最優秀賞、優秀賞、奨励賞を決定し、贈呈式を行います。また、受賞作品を掲載した冊子「市民文化」を作成し、市民の皆様に鑑賞していただきます。

(ウ) 鈴鹿の街音楽祭 2019

音楽が盛んな鈴鹿市の音楽イベントとして、合唱やクラシック、吹奏楽、邦楽から軽音楽まで、多彩なジャンル開催します。出演者も実行委員やスタッフとして参加し、みんなで作る音楽祭としていきます。

(エ) 吹奏楽フェスティバル in 鈴鹿 2019

吹奏楽の盛んな鈴鹿市として、小学校の金管バンドクラブ、中学、高等学校の吹奏楽部を中心としたフェスティバルを開催します。

(4) 広報事業

事業団の文化情報紙「けやき」を発行し、市の「広報すずか」に折込み、全戸配布します。また、事業ごとにポスター、チラシを作成し、県内の公共施設等へ掲示、配架します。ホームページへの掲載にも注力し、スマートフォン等を使った情報検索にも迅速に対応します。主な主催事業では FM 三重の協力も得て県内外への PR を進めていきます。

文化振興事業を幅広く支援していただくために、法人協賛の募集を行います。

3 施設管理事業

鈴鹿市の文化施設に指定管理者制度が導入される場合には、積極的に対応していきます。三重県文化振興事業団を始め、他市の事業団等と連携や協力を進め、事業及び施設管理運営について研究、研修を進めます。

4 収益事業

当事業団は収益事業実施の認可を受けておりますので、指定管理者制度を見据え、自動販売機の設置やショップ等の検討を進めていきます。また、主催公演時の CD・DVD、書籍等の販売を行っていきます。

5 法人事業

理事会、評議員会の開催、庶務、会計、人事管理、行政庁への諸書類の報告などを行います。また、指定管理者制度導入に備え、各種規定、帳票類の整備等をすすめるとともに、研修も行っていきます。

6 事業準備金

公益財団法人としての役割を果たすために次の事業の準備を進めます。

(1) 鈴鹿市文化振興事業団次世代育成事業

鈴鹿市内の小学校全 30 校の 5 年生全員に、本格的なオーケストラ演奏の鑑賞機会を提供し、子どもたちの情操と音楽への教養を育てるとともに、鑑賞マナーなども学べる機会とします。

(2) 鈴鹿市文化振興事業団設立 25 周年事業

鈴鹿市文化振興事業団は 2021 年度に設立 25 周年を迎えます。鈴鹿市の文化振興をさらに発展させる機会とするために、実力と知名度のあるアーティストによる事業を実施します。実施に際しては公益性を重視し、多くの市民の皆様に参加していただけるようにしてまいります。